

【 History is His story 】

※ 聖書箇所 「創世記」1 章 1～5 節

「ヨハネの黙示録」 22 章 18～21 節

新しい年、西暦 2016 年がスタートいたしました。

今年は、主の年 (A.D.) の 2016 年目です。

紀元前のことは、「B.C.」と言います。Before Christ . キリストの誕生以前の年のことになります。

それに対して、A.D. と言いますのは、Anno Domini . ラテン語で、Anno と言いますのは「年」のこと。Domini と言いますのは、「主なる神さま」のこと。

ですから、「Anno Domini」とは、「主の年・主なる神の年」ということになります。

主イエス・キリストが誕生されて以来、最初のクリスマスの時以来、2016 年になりますよ！
—— ということになるわけです。

イエス・キリストは、今から 2016 年前に、世界すべての人たちの「救い主^{ぬし}」として、神が人となられて、この世界に誕生してくださいました。

ですから、この 2016 年間は、主イエス・キリストによる、「救い主」としての、救いの歴史である —— とも言えるのです。

今回、お話させていただく話のタイトルを、

「 History is His story 」とさせていただきます。

History・歴史は、His・story。His の H が大文字になっています。特別な His です。

これは、神の御子・子なる神イエス・キリストのことをあらわしています。

History is His story. 歴史は、彼・神であられる救い主、イエス・キリストの物語。

皆さんは、世界の歴史というものは、私たち人類が、自分たちの力や知恵で、思いのままに進めてきたものだ —— と思っておられるでしょうか？

でも、本当は、どうなのでしょう？

「聖書」は、旧約聖書 39 巻・新約聖書 27 巻、合わせて 66 巻から出来ていますが、旧約聖書の一番最初は「創世記」です。

しかも、その「創世記」の最初の最初。1 章の 1 節～5 節は、次のような言葉になっています。

「**初めに、神が天と地を創造した。**

地は茫漠として何もなかった。やみが大水の上にあり、神の霊が水の上を動いていた。

神は仰せられた。『光があれ』。すると光があった。

神は 光を見て良しとされた。神は、光とやみとを区別された。

神は 光を昼と名づけ、やみを夜と名づけられた。

夕があり、朝があった。第一日。」

ここに、世界の歴史の始まりについて、記されています。

この天地・この世界は、偶然に出来ていったものではありません。自然に出来ていったものではありません。偶然に出来ていったものの集まりではありません。

初めに、神が、天と地を創造されました。

これが、歴史の始まりです。History のスタートです！ —— と、聖書の第一声で・最初のこ
とばとして、明確に宣言しています。

ここで「神」と言われている、もともとの言葉・原語は、ヘブル語で、「エロヒーム」と言います。何と、この言葉は、複数形になっています。父・子・聖霊。父なる神・子なる神・聖霊なる神。三位一体の神が、初めに、天と地を創造した —— と、はっきりと、宣言しています。

ここから、History・歴史がスタートいたしました。

第 1 日目に、天と地、水、光、昼と夜が創造されました。

第 2 日目には、大空、その上の天が創造され、大空の上の水と、下の水が区別されました。

第 3 日目には、陸と海、そして 植物が創造されました。^{せいめい}生命の誕生です。

第 4 日目には、太陽、月、そして 宇宙に広がる、数えきれないほどの数々の星が創造されました。

第 5 日目には、水の中の生き物と鳥が創造されました。^{せいめい}動物の生命の誕生です。

第6日目には、陸の生き物である、家畜・野の獣・はうものが創造され、そして、最後に、神のかたちに似せて 男と女の 最初の人間が創造されました。

そして、第7日目には、主なる神は、天地創造の すべてのわざを終えられて、聖なる安息日^{にち}とされました。

7日間の一日を、魂と体の安息の日として、聖なる日・Holy-day を創造されました。

ですから、私たちは、現代でも、日曜日を Holiday として・聖なる日として、仕事を休みにして、主なる神を礼拝する日として、教会に集まっているのです。

世界の歴史・History の始まりが、旧約聖書の「創世記」に記されている通り、主なる神による、天地創造によってスタートしたのだ —— と信じ・確信しているのが、クリスチャンと言われている私たちであるわけですが、

「いやいや、私は そうは思わない」 —— と おっしゃる方々も、多くおられるわけです。

それでは、そのようにおっしゃる皆さんに質問したいと思いますが、それでは、世界の歴史は、どのように始まっていったのでしょうか？

どのように、天と地・宇宙が存在するようになり、植物や動物の生命^{せいめい}が生み出され、そして、私たち人間が存在するようになっていったのでしょうか？

私たちは誰一人として、天地・宇宙の誕生や、生命の誕生の時点に、存在していたわけではありません。すべて、もっともらしく語られていることは、推論にしか すぎません。

ということですから、主なる神さまを信じない皆さんの場合は、いわゆる「進化論」として、説明していくしかありません。

宇宙の誕生、宇宙の進化、恒星が形づくられ、銀河系が形づくられ、太陽が形づくられ、単細胞の生命が発生し、植物が発生・進化していき、動物が発生・進化してきて、今の私たち・人間にまで進化してきた。これからも 進化を続けていく —— という考え方です。

このような「進化論」の考え方では、万物が形成されていくのは、すべて 偶然の集積・集まりによるものですから、今、私たちが見ているような 現代の状態になるまで進化を続けてくるためには、とてつもない・証明しようのない・天文学的數字の時間の経過が必要になります。

ですから、説明のために使われる数字はすべて、「数億年前」とか、「数千万年前」などという
ような、あいまいな言い方で表現するしか仕方がない、ということになってしまいます。

「本当に そうなんですか？」「どれほど、確かな数字なんですか？」—— と たずねてみたら、
はたして、どんな答えが返ってくるのでしょうか。

「数億年前」「数千万年前」と言っている、「進化論」を信奉する科学者自身、そのようにしか言
いようがないので仕方なく、そのように言っているにすぎません。

これって、“科学的である”と言えるのでしょうか。

宇宙は、およそ、138 億年前に誕生した —— と言われています。

138 億年ですよ！ 今年、A.D. の 2016 年。たったの 2016 年。それどころではない、
138 億年。

このような、とてつもなく大きな・あいまいな数字を、何の疑問もなしに、あなたは、受け入
れておられるのでしょうか？

主なる神による、天地創造によってではなく、偶然の集積・繰り返しによって、宇宙や生命が
形づくられていったと 思い込んでいる人たち。それを信じ込んでいる人たち。

そのような人たちの中に、あなた自身も、入っているのでしょうか。

私たちは、天地万物は、主なる神によって創造された —— という、聖書に宣言されている「創
造論」を、信仰によって受け入れている者ですが、一方、「進化論」も又、別の意味での信仰で
す。「創造論」信者と、「進化論」信者の違いです。

進化論の方が科学的で、創造論の方が 非科学的である —— というわけではありません。

「創造論」を確信する クリスチャンの科学者も、「進化論」を信奉する ノンクリスチャンの科
学者も、それぞれが、宇宙形成や生命・人間の形成について、よりくわしいプロセス・過程を、
科学的に証明していこうとしているだけのことです。

現代の「生きた化石」と言われている、「**シーラカンス**」という貴重な魚がいます。

4 億年前に出現し、6500 年前に絶滅してしまったと、「進化論」では考えられていた魚です。

ところが、そのシーラカンスが、今から 78 年前の、1938 年に、南アフリカで発見されたの
ですから、大変な出来事でした。

「20 世紀最大の生物学的発見！」と言われ、「生きた化石」と呼ばれました。

スクープは、続きます。

その 60 年後の 1998 年。今から 18 年前。

南アフリカからは、1 万キロメートル以上も離れている、インドネシア近海でも、「シーラカンス」が発見されたのです。

アフリカで発見されたシーラカンスと、インドネシアで発見されたシーラカンスは、今から 3 千万年前に分かれた 別々のものだと、「進化論」では、考えられています。

1 万キロメートル以上も離れていて、しかも、まったく違った環境に、3 千万年という 想像も出来ないほどの長い期間、住んでいますと、それぞれの環境に合わせて、体の大きさや形などが、それぞれ独自の、違ったものになっていく というのが、「進化論」の学説です。

ところが、びっくりポンですが、3 千万年後の、アフリカとインドネシアのシーラカンスは、**そっくりそのまま** なのです。

更に更に、ごく最近のこと。3 年前の 2012 年に、中国で、4 億 900 万年前の、最も古い時期・発生した当時のシーラカンスの化石が発見されましたが、何と何と、この 4 億 900 万年前のシーラカンスも、実は、**そっくりそのまま** なのです。

4 億 900 万年前のシーラカンスも、3 千万年前に枝分かれして行って、別々の方向に進んで 進化していったと言われているシーラカンスも、現代になって発見されたわけですが、**そっくりそのまま** の姿・形なのです。

「進化論」を信奉している人たちが考えているようには、まったく 進化など、していなかったのです。

これには、びっくりポンを乗り越えて、「進化論」そのものの いい加減さ に、私は驚きあきれてしまいますが、皆さんは どうなのでしょう。

「進化論」が考えているように ではなくて、世界の歴史の始まりが、旧約聖書の「創世記」に記されている通り、主なる神による、天地創造によってスタートしたのが真実だとしたら、世界の歴史の終わりについては どうでしょうか。

世界の歴史の終末は、新約聖書の最後の書、「ヨハネの黙示録」に記されている形で終わって

いく ―― ということも、真実である と言えるのではないのでしょうか。

“ 世界の歴史は、「創世記」に始まり、「黙示録」で終わっていくものである。 ”

このことが真理だとしましたら、この事実を私たちが知り・悟るということは、ものすごい知恵を獲得することになるのですよ！

世界の歴史・History は、主なる神によって与えられた「神のことば・聖書のことば」、そこに記されていることを、なぞっていつているものである ―― と言えそうです。

History is His story. 歴史は、神の物語。

Bible is His story. 聖書は、神の物語。

歴史のことを、よく知りたければ、聖書をしっかり読み、学ぶといいですよ ―― と言えそうですよ！

天地万物は、初めに、主なる神によって、完璧に創造されました。

すべてのものは、完璧な形で創造され、非常によかったのです。

どれもこれも、主なる神さまの、見事な芸術作品でした。

嵐も・津波も・高潮も・洪水も、ありませんでした。

干ばつ・地震・天変地異も、ありませんでした。

戦争・泥棒・殺人・あらゆる悪も、ありませんでした。

悲しみ・叫び・苦しみ・病気・死も・・・・ ありませんでした。

すべてのものは、主なる神によって、時間をかけて、7日間をかけて、完璧な形で創造されたのです。

ところがです。

最初に造られた人間である アダムとエバが、主なる神に対して、忠告を無視して、反逆の罪・原罪を犯してしまい、天地創造の時の祝福が破壊されてしまいました。

自然は、うめき・苦しむものになってしまい、私たち人類は、原罪を持って生まれ、罪を愛し・悪を受け入れ・原罪に支配されてしまうものになったのです。

天地創造の時点ではなかったものが、次々と起こるようになってしまいました。

殺人・差別・いじめ・災害・暴力・権力支配・姦淫・偶像礼拝・．．．．．等々々。

そして、いろんな宗教が生まれていきました。

そのように言いますと、カッコよく聞こえますが、神ならぬものが、自分たちの神として作り出されていきました。

日本では、「^{やおよろず}八百万の神」と言われますが、800 万もの 多くの神々が作り出されていきました。

聖書によりますと、こうした数々のことを推し進めようとする「この世の^{きみ}君・悪魔・サタン」。そして、その手下である悪霊たち。

皆さんは、その霊的な存在を、認識することが出来るでしょうか。それとも、ただの、マンガやアニメの世界のキャラクターだと思っておられるだけでしょうか。

そして、彼ら・悪魔や悪霊たちの働きを阻止し、神の国を進展させていこうとする、主なる神さまと天使たち。

実は、私たちは、そのどちらかの側に立って行動しているのです。

そのことが、皆さんには、おわかりになるでしょうか。それとも、何のことだか、全然わからないでしょうか。

新約聖書の「ヨハネの手紙第一」の 5 章 19 節には、次のように記されています。

「世全体・世界全体は、悪い者・サタンの支配下にある。」

「エペソ人への手紙」の 6 章 12 節には、

「私たちの格闘は、この暗やみの世界の支配者たち、もろもろの悪霊に対するものです。」

と あります。

世界で、そして日本で、次々起こっているトンデモないことや、おそろしい出来事、おぞましい事件などの背後には、それらのことを操っている 悪い者・悪魔・サタンが関係しているのだ—— ということを、皆さんは、考えたり・感じたりされたことがあるでしょうか。

表面にあらわれていること・見えていることだけをみて、アメリカがどうだ・中国がどうだ・IS イスラム国がどうだ・振込サギ、特殊サギがどうだ・．．．．．などと反応しているだけで

は、真実の姿は見ていませんよ —— と、聖書は言っています。

世界の歴史は、創造主^{しゅ}であられる神さまに対する背信・そむきの歴史、罪の歴史である —— とも言えるのです。

旧約聖書の「申命記」9章に、次のような言葉が記されています。

「あなたは、首すじの固い民である。どんなに、あなたの神・主を怒らせたことか。あなたがたは、主に逆らいどうしてであった。

あなたがたは、あなたがたの神・主の命令に逆らい、主を信ぜず、その御声^みに聞き従わなかった。あなたがたはいつも、主にそむき 逆らってきた。」

そして、このような主なる神に対する背信・そむきの歴史、罪の歴史のまっただ中に、神であられる主イエス・キリストが、救い主^{ぬし}として、この世界に送られてきたのです。

100% 神であり、100% 人間であるお方として、又、私たちの罪とさばきからの救い主として、主イエス・キリストが誕生してくださったのが、1週間前にお祝いした「クリスマス」だったのです。

この時から、主の年、Anno Domini . A.D. が スタートしていきました。そして、巡り巡って 今年、主の年（A.D.）の 2016 年目。

この 2016 年間は、主イエス・キリストによる、「救世主」メサイア としての、救いの歴史である —— とも言えるのです。

そして、まもなく、「ヨハネの黙示録」に明らかにされている、最後の審判の時・世界の終末とさばきの時がやってきます。

今の世界が、今後どのように進んでいくのかを知りたいと、皆さんが思われますなら、イエス・キリストが、世界の終末のことについて 弟子たちに語られた言葉や、「ヨハネの黙示録」をお読みになってみてください。

イエス・キリストに対して、弟子たちが質問いたしました。

「世の終わりには、どんな前兆があるのですか。」

イエス・キリストは、答えられました。

「戦争が起こります。民族は民族に敵対し、国は国に敵対して、行動します。

方々に飢饉や地震が起こります。

不法がはびこり、人々の愛・やさしい心は 冷えていってしまいます。

にせキリスト・わたしのにせ者が現われて、人々を惑わします。奇跡的なことや不思議なことをして見せて、人々を惑わします。

これまで経験したことのないような、苦難の日々が続きます。 」

「ヨハネの黙示録」を見てみますと、最後の審判で、さばかれ・滅ぼされることになる 悪魔・サタンや、その手下の悪霊たちが、最後の審判前の、“最後の悪あがき” をしますので、私たちが住んでいる この世界は、もっともっと悪くなっていきます。

人々は、平和を求めているのに・そのために いろいろなことをしているのに、世界は、ますます・どんどん ひどくなっていきます。

そして、そのような、もはや人の力では どうしようもない世界になった時に、主イエス・キリストが **再臨される**、と預言されているのです。主イエス・キリストは、再び来られます。

1 回目は、救い主として・メサイアとして、クリスマスの日に来られましたが、今度は違います。救い主としてではなくて、罪と悪をさばく「さばき主・最後の審判者」として来られます。

そして、悪魔と悪霊どもを、又、悪魔や悪霊どもと共に歩んできた、すべての人々をさばかれます。最後の審判を執行・実行されていきます。悪や罪が、そのままにされることはありません。

イエス・キリストを、神であり・救い主として信じているクリスチャン達は、「天国・天のパラダイス」が約束されていますので、大丈夫なのですが、もし、あなたが、そうでないのでしたら、大変です！

天国に入るビザ を持っておられないとしたら、天国へは行けませんから、大変です。別の所に行くことになります。

ぐずぐずされていると、ついには、容赦のない、神のさばきを受けることになってしまうのです。**さあ、皆さんは大丈夫でしょうか？**

さて、世界の歴史は、この「**最後の審判**」で終わりではありません。

今、私たちが見ている、罪と悪にまみれてしまった天と地は 過ぎ去ります。滅び去ります。

そして、新しい天と新しい地・新しい天地が準備されます。原罪が犯される前の、「創世記」の最初の創造の姿に回復されていきます。

そして、主なる神を信じ・救われた者たちは、新天新地において、天国において、永遠のいのちに生きる者とされるのです。

聖書の最後の書、「ヨハネの黙示録」の最後の章 22 章の、更に最後の個所を見てみましょう。
18 節～21 節の みことばです。

「わたし（イエス・キリスト）は、この書の預言のことばを聞くすべての者にあかしする。（すべての人に警告します。）

もし、これに付け加える者があれば、神は、この書に書いてある災害をその人に加えられる。

また、この預言の書のことばを 少しでも取り除く者があれば、神は、この書に書いてある いのちの木と聖なる都から、その人の受ける分を取り除かれる。

これらのことを あかしする方（イエス・キリスト）が こう言われる。

『しかり、わたしはすぐに来る』 アーメン。主イエスよ、来てください。

主イエスの恵みが、すべての者とともにありますように。」

世界の歴史が、**「History is His story」** “歴史は神の物語” だと わかっていれば、世界の歴史が、いかにドラマチックに・ダイナミックに進んでいっているかが、よ～く わかりますよ！

この新しい年・2016 年も、是非、神のことばである聖書を開き、日曜日・あるいは他の日でも、教会に来られて、主なる神さまの恵みと祝福を、いっぱい いただいでください。今のままではない、もっともっと幸せになっていってください。

もし、あなたが まだ、「天国」に入る**「入国ビザ」**をいただかれていないとしたら、大変です。「天国」には入れません。「入国ビザ」を急いで、発行してもらってください。

どうしたらいいのかは、そばにいるクリスチャン達が知っていますので、相談なさってください。誰もいなければ、この私（久保田典彦・Tel.072-682-1887）に声かけをしてください。

I wish you a Happy New Year !

あなたにとって、幸せな新しい年でありますように。私は祈ります。祈っています。

ひとこと、お祈りいたしましょう。

主なる神さま。この新しい年の出発を、あなたのことを覚え、あなたを礼拝し、あなたと共にスタート出来ましたことを 感謝します。この年も、よろしくお願いします。 アーメン